

輸送動向について(平成17年度第1-四半期)

平成17年7月
営業部

1. 輸送概況

第1-四半期の運転状況は、4月に福岡県西方沖地震及び6月には新潟地区の大雨など自然災害による列車支障が発生した他、人身障害事故などによる列車遅延も多発し、これらの影響で高速貨102本、専貨11本が運休した。

荷動きについては、積極的な運転拡大によりゴールデンウィーク期に需要の盛り上がりがあったものの、全般的にはやや弱含みで推移し、輸送量全体では前年比100.5%となった。

コンテナ貨物では天候不順による生育不良のため減送となった生野菜青果物の他、エコ関連物資、化学工業品、並びに積合せ貨物等が前年を下回ったものの、民間流通米が好調であった農産品をはじめ、自動車部品等が前年を大きく上回り前年比101.2%となった。

車扱貨物では、4月に気温が低かった影響により大幅に増送となった石油が前年を上回ったが、一部区間の輸送が終了したセメントや化学工業品等が前年を下回り、車扱全体では前年比99.4%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	1-四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,435	5,373	101.2%
車扱	3,231	3,252	99.4%
計	8,666	8,624	100.5%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品	285	241	44	118.3%
	生野菜青果物	116	131	-15	88.5%
	化学工業品	528	545	-17	96.9%
	化学薬品	421	412	9	102.2%
	食料工業品	884	873	11	101.3%
	紙パルプ等	866	856	10	101.2%
	他工業品	390	367	23	106.3%
	積合せ貨物等	645	659	-14	97.9%
	自動車部品	150	122	28	123.0%
	エコ関連物資	94	116	-22	81.0%
	その他	1,055	1,051	4	100.4%
コンテナ計	5,435	5,373	62	101.2%	
車扱	石油	2,006	1,955	51	102.6%
	セメント	250	319	-69	78.3%
	石灰石	162	156	6	103.9%
	車両	336	324	11	103.5%
	紙・パルプ	135	132	3	102.0%
	化学工業品	125	140	-15	89.5%
	その他	217	225	-7	96.7%
車扱計	3,231	3,252	-20	99.4%	
合計	8,666	8,624	42	100.5%	

車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報